

びわこの東から

平成23年(2011.3)3月号
 発行：湖東土木事務所
 〒522-0071 滋賀県彦根市元町4-1
 TEL 0749-27-2254
 Email: ha34150@pref.shiga.lg.jp

東北関東大震災では多くの人命が奪われる大災害となりました。速やかに立ち直られ皆様に笑顔が戻りますよう心よりお祈りいたします。

川瀬馬場地先～南川瀬地先の道路改良事業を紹介します！！



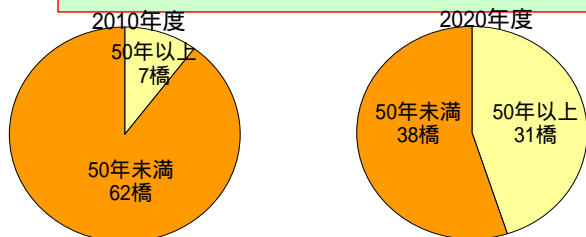
日夏街道踏切が完成しました！！
 車道が広がり、両側歩道となったことで、歩行者の安全の確保・安全な自動車の通行を確保しました。沿道の皆様のご尽力により踏切の拡幅が実現いたしました。工事にご協力頂きありがとうございました。

JR河瀬駅前の道路(神郷彦根線)が通りやすくなりました！！
 今年度(H22)工事により、河瀬駅前の約200mの区間に歩道の整備と、車道拡幅工事を行いました。来年度(H23)も引き続き工事を行いますので、ご協力よろしくお願ひします。

滋賀県の橋梁長寿命化計画

背景

湖東土木事務所管内ではH22年4月現在、15m以上の橋梁69橋を管理しています。15m以上の橋梁のうち既に建設後50年を経過する高齢化橋梁は7橋で全体の10%ですが、10年後にはこの割合が45%となり約半数を占め、**橋梁の高齢化が急速に進行**します。このような背景から、今後、多大な費用を要する補修や架替が一時期に集中しないように、橋の長寿命化を図る必要があります。

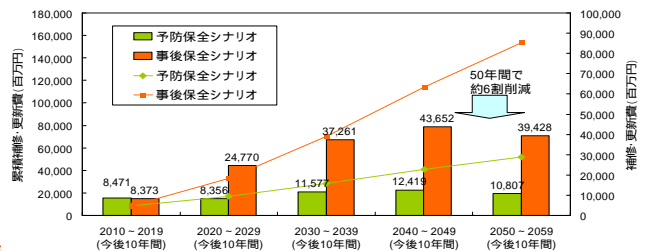


橋の長寿命化を図るためには！！

損傷が大きくなってから対策を行う「事後保全」ではなく、**損傷が小さなうちに予防的に補修を行う「予防保全」**を実施します。

長寿命化による効果

費用の縮減



上記データは県内すべての橋梁を対象として算出しています。
維持補修

急傾斜地崩壊対策事業の紹介

急傾斜地崩壊対策施設は、崖崩れ等が発生する恐れのある地域において、崖崩れによる被害から人命を守るために整備をします。

鳥居本地区では平成20年度より工事に着手し、平成23年1月に全工区が完成しました。本年度の工事は写真のように斜面全体を抑える簡易吹付け法枠工法を採用するとともに、地元住民に親しまれていた桜の木を一部残しました。



彦根市鳥居本町に完成した急傾斜地崩壊対策施設

【斜面概況】 斜面の高さ 約21m、勾配 約36°
 【対策施設】 簡易吹付け法枠 2,125m²、工事費約3.5千万円

<急傾斜地崩壊対策施設は、生命・財産を守ります>

砂防

愛知川右岸河畔林の会第13回イベントを実施しました。



総勢40名を越えた記念撮影

平成23年3月12日(土曜日)に愛知川右岸河畔林の会第13回イベント『愛知川の河畔林で野草を採ろう!』を開催しました。

「愛知川右岸河畔林の会」では、愛知川の河畔林の環境を良くするため、住民と行政が協働で活動しています。

当日は、一般募集で参加していただいた皆様と枯竹・折竹の除去作業の後、河畔林で採れた野草を天ぷらにして食べていただきました。また、竹細工の講習会も開催し、竹とふれあっていただきました。

湖東土木事務所はこの様な活動を通じて、地域に根ざした川づくりを目指しています。



子ども達も頑張ってお手伝い 寒い一日でしたがご苦労様でした。



野草天ぷらはなかなかおいしいと、好評でした。

河川

湖東圏域河川整備計画の説明会を開催

湖東土木事務所では、管内主要河川の今後概ね20年の間に実施する河川の改修や維持管理について定める「湖東圏域河川整備計画」の策定作業を進めています。

これまで、湖東圏域では犬上川・芹川・矢倉川・不飲川で川づくり会議を開催し、皆様のご意見をお聞きして策定作業を進めてきましたが、今回は、野瀬川と平田川の改修計画を新たに追加した、「湖東圏域河川整備計画(原案)」を作成しましたので、もう一度皆様からのご意見を伺うため、平成23年2月27日(日曜日)に、ひこね燦ばれす(1階多目的ホール)にて『湖東圏域河川整備計画説明会』を開催しました。

当日は、参加された皆様より貴重なご意見を多数いただきました。今後は、関係機関との協議、関係市町の意見聴取などを経て、国土交通省へ申請することとなります。



平成23年2月27日(日)燦ばれす 1階多目的ホールにて

河川

危機管理



昨年7月・11月 時間内初動訓練の様子

緊迫した現地の被災状況を的確に情報伝達する訓練を2回実施しました。

平成23年1月湖東土木事務所、「勤務時間内」における大規模地震発生時の初動活動計画(案)の改定を行いました。

計画調整

編集後記

平成22年度の最終版を発行します。なお、東北の震災のため「土木のその時歴史は動く」は控えさせていただきます。ご了承下さい。・・・事務局

所長コメント

平成22年度職員の皆様には大変ご苦労をおかけしました。平成23年度も引き続きよろしくお願いいたします。